

編集後記

梅雨も明けて夏休みの計画も立てられているころでしょうか。今年は記録的な暖冬でしたが、夏はどのような暑さになるか、最近の環境問題への関心とともに気になるところですね。

さて、今月のニュースレターでは、資料コーナを日立製作所の高橋様にご執筆いただきました。エネルギー需給の観点からは民生部門の増加が大きいこと、エネルギー供給では多様化が進んでいることがよくわかります。

学界情報からは、東京工業大学の井上様に APEC2007 の状況についてご寄稿いただきました。参加規模、展示規模の大きさが特徴的なこと、Social Event のユニークさが伝わってきます。

部門活動広報からは、横浜国大の河村先生に平成 19 年度産業応用部門事業計画の要点についてご執筆いただきまし

た。部門論文誌のさらなる充実と、会員の満足度向上のため様々な施策を行う計画が記載されています。

また平成 19 年部門大会案内を大阪工大の森實先生にご執筆いただきました。例年開催されている一般セッション、ヤングエンジニアポスターコンペティション、シンポジウム等に加え、平成 18 年大会で好評だったオーガナイズドセッションも引き続き行う予定です。また、8 月 21 日(火)には、特別講演、懇親会を、8 月 23 日(木)にはテクニカルツアーを実施いたします。皆様奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

最後に、ご多忙の中、各記事をご執筆いただきました皆様、編集作業にご協力いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます。

エディタ 田中 徹 (NTT 環境エネルギー研究所)

【8 月号特集「産業応用部門大会第 20 回記念特集号」予告】

森本 茂雄 (大阪府立大学大学院工学研究科)

平成 18 年 8 月 21～23 日に名古屋工業大学で開催された産業応用部門大会は、1,000 名を超える参加者と 486 件の論文発表がありました (詳細は、電気学会産業応用部門ニュースレター 2006 年 12 月号の「平成 18 年電気学会産業応用部門大会報告」をご覧ください)。この名古屋大会は、昭和 62 年に第 1 回大会を京都で開催して以来、20 回目となるためこれを記念して、「産業応用部門大会第 20 回記念特集号」を企画いたしました。特集号に投稿できる論文は、部門大会で発表された 6 ページの論文としましたが、総論文数 486 件のうち 98 件 (シンポジウム: 36 件、オーガナイズドセッション: 19 件、一般セッション: 43 件) が 6 ページの論文でした。部門大会で発表される 6 ページの論文は産業応用部門誌に投稿する完成度の高いものに限定されており、これまでは部門大会で発表したあと、一般論文として投稿していただき、掲載していましたが、今回は特集論文としてまとめて掲載いたします。

なお、本特集号に投稿された優秀な論文の著者に「産業応用部門大会第 20 回記念論文賞」を授与し、今年の部門大会 (大阪大会) で表彰いたします。